

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



**おめでとう**  
全国選抜少年剣道錬成大会出場

#034 Miina Natsui

夏井 みいな さん (左)

比布中央学校 6年生

#035 Ryu Kubota

久保田 琉 さん (右)

比布中央学校 6年生

※掲載情報は2月29日現在です。

比布中央学校6年生の夏井みいなさんと久保田琉さんが、3月31日に茨城県水戸市で開かれる「第65回全国選抜少年剣道錬成大会」に出場されます。

全国の小学生剣士たちが日頃の鍛錬の成果を競う、この大会。比布町剣道スポーツ少年団に所属する二人は、今回、旭川剣道連盟の選抜4チーム20人に選ばれ、週1回の合同稽古会で他道場の選手と稽古を積んでいます。

「自分の剣道がどこまで通用するか確かめたい」と意気込む夏井さんと久保田さん。高い志を持ち、礼儀正しく、時にはにかみながら話す二人です。

夏井さんは保育園行事がきっかけで剣道に出会い、年長から習っています。ひたむきに稽古に励む夏井さんには、ある目標が。

「人数が少なく5人の団体戦が組めない道場も多いですが、今のメンバーだと、私が9年生になった時に女子5人で団体戦に出場できる。その時に中体連全道大会で優勝できるように、もっと強くなりたい」と先を見据えています。

久保田さんは8歳年上の兄の影響で、保育園年少から剣道を習っています。着



実に力をつけ、高学年になると大会で入賞する機会も増えてきました。「メダルを獲れた時は嬉しい。だから厳しい稽古も頑張れる」と人懐っこい笑顔を見せる久保田さん。  
しかし、その胸中は「兄より強くなりたい」と対抗心を燃やしています。  
比布剣道連盟指導部長の寒河江卓さんは「二人とも選抜チームの合同稽古会で精神的、技量的にも良い刺激を受けている。全国の場合、さらにひと回り成長してほしい」と期待します。  
約2千人が集まるという全国大会。6年生にとっては集大成の大舞台です。夏井さんは「目の前の一戦一戦を全力で臨みたい」、久保田さんは「気持ちで負けないよう声を出して打っていきたい」と気合十分です。

**おめでとう**

#028 Koroku Sagae 全国少年少女選抜レスリング選手権大会 第3位

寒河江 冴六 さん 比布中央学校 6年生 —— 広報びっぶ 2023年9月号で紹介

「第28回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」が1月27日に東京都で開かれ、旭川レスリングクラブに所属する寒河江冴六さんが小学生男子6年50キロ級で第3位を獲得しました。同大会は昨年夏の選手権のベスト8が出場できる選抜大会。寒河江さんは今回の結果に「自信がついた。次に向けて練習を頑張りたい」と決意を新たにしました。



1\_旭川レスリング協会石川徹副会長とともに村中町長を表敬訪問 2\_果敢に勝負を仕掛ける寒河江さん(右)